第18回　縄文楽検定　初級　解答集

令和8年4月2日作成

テキストから90%の出題でした。テキストの略称は以下のとおりです。

テキストⅠ：縄文楽検定テキスト『縄文文化と火焔土器』(信濃川火焔街道連携協議会、平成21年3月刊行)
テキストⅡ：縄文楽検定テキストⅡ『信濃川火焔街道　縄文の旅』(信濃川火焔街道連携協議会、平成23年12月刊行)
『あ、コレ知ってる！』：新潟県立歴史博物館編『あ、これ知ってる！はにわ どぐう かえんどきの昭和平成』(新潟日報事業社、令和元年8月刊行)。
日本遺産ガイドブック：『日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化』ガイドブック
（信濃川火焔街道連携協議会、令和3年度改訂版　※平成28年度版とは頁数が異なるので注意）
『信濃川火焔街道連携協議会ガイドブック Vol.6』

問	解	問題の出典と解説
1	b	1万5千年前 (テキストからはこのように読み取れますが、最近の研究では1万6千年前との説もあります。) 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.1　第1図　縄文時期区分より
2	d	草創期・早期・前期・中期・後期・晩期 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.1　及び　第1図　縄文時期区分より
3	b	日本海に対馬海流が流れ込んだから 暖流の対馬海流の流入によって日本海の海水温度が上昇し、ここに大陸からの季節風が吹きこむことによって、この地域が豪雪地帯になったと考えられています。 日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化　ガイドブック　p.2
4	b	温暖化が進み、海面が上昇した 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.1
5	d	珊瑚 この縄文海進は千葉県館山付近の海辺に珊瑚が生育する環境で、現在の奄美大島付近の気候であったといわれています。 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.1
6	b	aは十日町市幅上遺跡出土の深鉢形土器、bが長岡市馬高遺跡出土の火焔型土器(A式2号)、cが同じく馬高遺跡出土の王冠型土器、dは長岡市山下遺跡の深鉢形土器です。 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.5・7・8・10・11 〈縄文楽検定テキストⅡ〉信濃川火焔街道　縄文の旅p.24
7	c	馬高遺跡 「火焔土器」は縄文土器の一個体のニックネームとして通用するようになったといわれている。 1936(昭和11)年の大晦日、近藤篤三郎によって馬高遺跡から掘り出された個体です。 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.5
8	c	昭和11年ころ 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.5
9	c	昭和35年 1960(昭和35)年5月12日の毎日新聞に、八幡一郎が執筆した「古代のクラフト―縄文美術展―」に関する記事が載っており、その美術展の写真に馬高遺跡の「火焔土器」の写真が掲載されていたとのことです。 「あ、コレ知ってる！はにわ どぐう かえんどきの昭和平成」p.52～p.53
10	d	道尻手遺跡、高さ61cm 津南町道尻手遺跡例は高さ60.7cmで国内最大の火焔型土器です。最大の火焔型土器は高さ61.0cmのアメリカ・クリーブランド美術館所蔵資料とされますが、新潟県立歴史博物館の宮尾専門研究員の調査によれば、底部を別個体で補っており、本来の個体より5～7cmほど大きく復元されている可能性があるようです。(参考：新潟県立歴史博物館研究紀要第20号、2019) 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.26
11	b	420ml 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.15
12	d	5,000ml 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.15
13	c	鶏冠状突起 鶏のトサカに似ていることから鶏冠状突起あるいは鶏頭冠と呼んでいます。 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.9～10
14	d	ムシ眼鏡状突起 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.10
15	c	aは十日町市幅上遺跡出土の深鉢形土器、bとdが長岡市馬高遺跡出土の火焔型土器(A式2号)、cが同じく馬高遺跡出土の王冠型土器です。 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.11
16	d	縄文がついている この土器は、胴部に縄文が施されていることが特徴です。一般的な火焔型土器・王冠型土器は縄文が施文されません。 日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化　ガイドブックp.5 〈縄文楽検定テキストⅡ〉信濃川火焔街道　縄文の旅p.2
17	b	ウィラード・フランク・リピー 「あ、コレ知ってる！はにわ どぐう かえんどきの昭和平成」p.26
18	c	中期、約5千年前 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.3
19	b	シャモット 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.16
20	c	「おこげ」の分析から、シカやイノシシ、クリ・トチなどの堅果類、サケ・マスを土器で調理していたと考えられるデータが得られています(参考：火焔土器の国p89～98)。トウモロコシはこの時期まだ日本に伝わっていません。 「あ、コレ知ってる！はにわ どぐう かえんどきの昭和平成」p.140～141
21	c	土器の破損部分を紐で結び補修するための孔(使用で破損した土器を補修するために土器本体と土器片とに孔を穿ち細縄などで補修していたことが多くの資料からわかっています。) 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.18
22	b	石鏃 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.22
23	c	押圧剥離(おしはがす) テキスト外
24	c	土掘り道具(打製石斧は伐採用の斧ではなく地下茎や球根などを掘るための堀具の先端に装着されていた可能性が指摘されています。」) 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.21
25	d	新潟県の姫川流域 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.22
26	a	ナイフ テキスト外

27	b	ロクロを回しながら形を整える(今のところ縄文時代には回転ロクロが使用されていないと考えられています。縄文土器の底には木の葉や編み物のあと痕跡が残されており、これら敷いて手で回しながら土器を作っていたと考えられています。) 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.17
28	b	大沢谷内遺跡 大沢谷内遺跡は、上層は飛鳥時代から鎌倉・室町時代、下層は縄文時代晩期の集落跡。下層からはアスファルトの塊やアスファルトの付着した土器が出土しています。 日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化　ガイドブックp.6
29	c	上野原遺跡 日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化　ガイドブックp.11
30	a	配置には規則性があり、竪穴住居が広場を中心に放射状に配置されていた 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.4
31	a	草創期後葉 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.2
32	c	長野遺跡 長野遺跡からは火焔型土器と王冠型土器をはじめ大量に土器が出土し、形や文様が福島県会津地方のものと似ている土器もありました。縄文時代から「八十里越」を超えて交流があったと考えられます。 日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化　ガイドブックp.10 〈縄文楽検定テキストⅡ〉信濃川火焔街道　縄文の旅p.8
33	d	沖ノ原遺跡 津南町埋蔵文化財センター”うもれあ”では、体育館を利用した展示室に沖ノ原遺跡の第1号住居跡が原寸大で復元されています。 テキスト外
34	d	新潟市歴史博物館(みなとぴあ) 「構成文化財」No.1の信濃川関連資料やNo.53の的場遺跡・同出土品も展示されています。 日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化　ガイドブックp.7
35	c	長岡市立科学博物館 昭和26年に悠久山公園の一郭に開館した新潟県内の登録博物館としては第1号の博物館です。考古資料は旧石器時代から中世の石器や土器、重要文化財の小瀬ヶ沢洞窟・室谷洞窟出土品などを見ることができます。 日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化　ガイドブックp.15
36	b	ツベタ遺跡 〈縄文楽検定テキストⅡ〉信濃川火焔街道　縄文の旅p.5
37	c	大蔵遺跡 〈縄文楽検定テキストⅡ〉信濃川火焔街道　縄文の旅p.5
38	d	水源地遺跡 〈縄文楽検定テキストⅡ〉信濃川火焔街道　縄文の旅p.5
39	c	清水上遺跡 〈縄文楽検定テキストⅡ〉信濃川火焔街道　縄文の旅p.18
40	c	十日町市・笹山遺跡 日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化　ガイドブックp.25 〈縄文楽検定テキストⅡ〉信濃川火焔街道　縄文の旅p.20
41	c	岩野原遺跡 〈縄文楽検定テキストⅡ〉信濃川火焔街道　縄文の旅p.14
42	d	環状集落 配置に規則性があり、竪穴住居の棟軸が広場を中心に放射状になり、その形状から環状集落と呼ばれます。 〈縄文楽検定テキストⅡ〉信濃川火焔街道　縄文の旅p.14 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.4
43	c	越冬用の恒久的な集落 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.4
44	b	フラスコ状土坑 〈縄文楽検定テキストⅡ〉信濃川火焔街道　縄文の旅p.8・25
45	c	黒姫洞窟遺跡 日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化　ガイドブックp.22
46	c	底引き網 テキスト外
47	c	三角形土製品 省略型土偶の一部として理解し、三角形土偶と呼称されることもあります。 〈縄文楽検定テキスト〉縄文文化と火焔土器p.23
48	d	文化庁 日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化　ガイドブックp.1
49	d	岡本太郎 日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化　ガイドブックp.2
50	c	小林達雄 日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化　ガイドブックp.17～20